■宇喜多直家　　**武将。戦国大名。不遇な生い立ちで，冷酷な手段を厭わず，暗殺，裏切りを繰り返し，備前岡山城主に至った。**
うきたなおいえ
・・・・・・1529＝　　備前国邑久郡豊原荘の砥石城で，在地領主宇喜多興家の子に生まれる。
祖父の宇喜多能家は，播磨の守護代浦上家3代に仕え，智勇に優れた人物だったが，
天王寺合戦・1531＝ 2歳：浦上村宗が敗死すると，権力闘争が始まり，

・・・・・・1534＝ 5歳：浦上氏の家臣だった島村盛実に居城を襲撃されて，祖父能家は自害。父ともに城を脱出，備後鞆・備前福岡・同笠加を転々とすうるうち，
天文法華の乱1536＝ 7歳：(1540年説も)**_父は病死。孤児となり，見知らぬ土地で，牛飼いのようなことをして凌いでいたが，**

銀輸出始・・1538**＝ 9歳：**

才知に優れる美少年となって，

鉄砲伝来・・1543＝14歳：**_旧主家の天神山城主浦上宗景の寵愛を受けて，出仕するや，初陣で功を挙げ，**
・・・・・・1544＝15歳：***乙子城の城主に抜擢され，**

このような幼・少年期の育ちが，感情を欠く特異な人格を形成したと思われる。
勘合船終・・1547**＝18歳：**

ザビエル来日1549＝20歳：
備前を任されていた宗景が，山陽への侵略を繰り返す尼子氏への対応を巡って，村宗の跡を継いだ兄政宗と対立，国衆も二派に分裂するなか，政宗と友好な関係を築いていた備前国金川城主の松田元輝に対抗するなど，**_対立する宗景の兄政宗派への攻撃を繰り返して頭角を現し，**

・・・・・・1556**＝27歳：**

大友府内開港1559＝30歳：岳父中山信正を謀殺して，祖父の旧領地を奪回，仇敵島村盛実も謀殺して**_宇喜多氏の家督を回復すると，**
桶狭間の戦・1560＝31歳：尼子晴久が死去して，中国地方の情勢が一変するなか，
川中島最激戦1561＝32歳：まず，松田氏の家臣で，龍ノ口城主のさい(のぎへんに最)所元常が男色家であることを知ると，眉目秀麗な小姓を惚れさせる機会をつくって成功，彼が，元常の首を刎ねて持ち帰ると，喜んで労をねぎらったというように，**_以後，婚姻関係を結んで安心させて，暗殺・裏切りに追い込む，**
大村長崎開港1562＝33歳：毛利氏による出雲侵攻が始まって，宗景が，それまで支援を受けていた毛利氏との対立するなか，ついで，松田氏に和議を申し入れ，その証として，自らの長女と元輝の子元賢，自らの妹と松田氏の重臣の伊賀久隆の婚姻が成立，しばらくは，両家は良好な関係になる。宗景が，兄政宗と和平を結び，
大村純忠受洗1563＝34歳：毛利氏配下の備中松山城の三村家親と各地で交戦するなか，**_亀山城に入って備前西部の経略にあたり，**
将軍義輝自刃1565**＝36歳：**
・・・・・・1566＝37歳：顔見知りの阿波細川氏の浪人遠藤兄弟を起用し，鉄炮で三村家親を暗殺，
岐阜楽市楽座1567＝38歳：2万の兵力で備前に攻め入った家親の子元親を，わずか兵5千をもって撃退した***明禅寺合戦の完勝で"戦国大名"として認められ，**
織田信長入京1568＝39歳：さらに，この戦に，松田氏が援軍を出さなかったことを機に，妹婿の伊賀久隆を懐柔して寝返らせ，金川城を包囲させて，長女の夫松田元賢を殺害，夫の死を知った長女は自害したという。その後も，姻戚関係にあった金川城主の松田元輝・元賢親子を滅ぼして，主家の勢力を凌ぐが，
京都宣教許可1569＝40歳：織田信長や西播磨の赤松政秀と結んで，主君浦上宗景を倒すべく反旗を翻すも，宗景が，青山土器山の戦いで敗北した赤松政秀攻めて降伏させてしまったため，孤立し，独力での抗戦は不可能と，宗景に降伏，特別に帰参を許されて，共に備中・美作に兵を進めて，毛利と交戦，
石山合戦始・1570＝41歳：**_岡山平野制圧の好適地の石山の城主金光宗高を謀殺して，その所領を自己の知行とするなど勢力を拡大し，浦上家で随一の実力者となるとともに，城に大改修を施し，**
三方原の戦・1572＝43歳：大内輝弘や尼子勝久が反毛利の兵を挙げると，毛利氏は九州から兵を返して攻勢に転じ，足利義昭の仲介により浦上氏・宇喜多氏と毛利氏の間で和平が結ばれるが，織田信長が，宗景に，播磨・備前・美作の支配を認める朱印状が与えると，これに反発，
室町幕府滅亡1573＝44歳：**_入城し，城下町岡山の歴史が始まる。**
長島一揆鎮圧1574**＝45歳：**宗景の兄政宗の孫久松丸を擁立して反旗を翻し，宗景と犬猿の仲であった安芸国の毛利氏と結び，
長篠の戦・・1575＝46歳：宗景の重臣たちも内応させて勝利(天神山城の戦い)，**_備中国の一部・美作国の一部にまで支配域を拡大，**
安土楽市楽座1577＝48歳：その後も旧浦上家臣が抵抗し，浦上残党が一斉蜂起し，幸島を占拠されたり，一時は，天神山城を奪われるが，備前国や播磨国に潜んでいた旧浦上の勢力を領内から放逐し，宗景を援助していた美作鷲山城主の星賀光重を討って，***ついに，主家宗景を完全追放して，領内での安定した支配権を確立，備前国・美作国南部に播磨国西部までを領する有力戦国大名になるに至った。**
上杉謙信没・1578＝49歳：織田信長の命を受けた羽柴秀吉が中国路方面に進出してくると，これに対抗，この時，秀吉の工作に応じて，その陣中に送ったのが，堺の薬種問屋の青年で，のちの小西行長である。
安土教会許可1579＝50歳：信長に内応したとして東美作の後藤勝基などを滅ぼすものの，**_毛利氏と手を切って信長に臣従し，美作・備前各地を転戦して毛利氏と合戦を繰り返す最中，**
ﾊﾞﾘﾆｬｰﾉ謁見 1581＝52歳：岡山城で**_没した。**
死因は"尻はす"という出血を伴う悪性の腫瘍であったという。 冷酷で無慈悲な策謀家で，弟の忠家をして，'兄は腹黒く，何をたくらんでいるか分からない。会うときは服の下に鎖帷子を付けたものだ'と語るほどであり，"戦国の梟雄"とおそれられる一方で，金川城主の松田氏の焼き討ちに遭った金山寺や吉備津彦神社の再建を援助して崇敬され，商人を呼び寄せて，岡山城下町を発展させるなど，多面的な人物であり，裸一貫から中国路有数の戦国大名にのし上がったその実力は，異彩を放っているといえよう。

Wikipedia，ホームページ「岡山市」「岡山県」「刀剣ワールド」，